

美容業界の未来を明るくするために

まずは美容学校から

変わる必要がある

美容師免許の取得はあくまで「通過点」

中日美容専門学校は、美容・トータルビューティーの2学科と通信科で合わせ、約1500名の学生が在籍しています。私たちは日本の「学生ファーストの学校」を目指しています。その具体的な取り組みとして、就職後すぐに即戦力として活躍できる教育カリキュラムを実践しています。

サロン入社からスタイリストデビューまでは3年ほどかかりますが、私たちは「1年でスタイリストになれる道」を切り拓きたいと考えています。そのため、国家試験対策の時間は確保しつつ、実践的なサロンワークを学ぶ時間を最大限に増やしています。

どうして早くスタイリストになってほしいのか。そこには、美容業界の課題である「3年以内の離職率の高さ」が関係しています。離職の原因の一つに、給与の低さが挙げられます。スタイリストにならない限り、大きな売上を立てることは難しいため、

リストになってもらうことに価値があるのです。

もう一つの離職理由に、終業後の練習が挙げられます。現代の新人が「努力の上の努力」をするのでしょうか。8時間勤務することが、今の若者にとって大きな努力になっていきます。その勤務後に居残って練習を強いるのは、時代の変化に合っていない。それなら、その「努力の上の努力」を学生時代にやっておけばいい。入社して1年でスタイリストデビューできれば、仕事の楽しさが早くわかるし、給料も早く上がる。結果、離職率も下がると思っています。

中日美容専門学校の考えは、美容師免許の取得は通過点に過ぎません。スタイリストの養成が私たちの目的です。専門学校はそういう場であるべきだと思います。結局、美容業界が良くないと、美容学校も良くならないでしょう。業界を輝かせるために私たちが何をしないといけないのか。それが「スペシャリストを育てる場所になること」と考えています。

「本質」を大切にしないと生き残れない時代

現在18歳の人口は約100万人で、18年後には70万人を切ると言われてます。専門学校にサポートを当てると、愛知県なら現在18、19%くらいの専門学校の進学率を25%に上げないと経営が厳しくなります。すると、学生に選ばれるために「専門学校でできることは何か?」となるわけですが、やはり「資格を取る場所」となると、私は違うと思います。資格を取得できる大学

生徒数約1500名と、美容の業界では日本最大級の規模を誇る中日美容専門学校。これからの美容学校に求められることとは? 学生たちに取り組んでほしいこととは? 学校長に本音を聞く!

入社直後の低給与は、どうしても仕方がない問題です。昨今は初任給を上げるサロンも増えていますが、それが経営側の過度な負担になっている側面もあります。つまり、入社1〜2年のスタッフの価値と給与がイコールになっていないのです。それをイコールにする世界を創造していかないといけない。だからこそ、一日でも早くスタイ

リストになってもらうことに価値があるのだから、今も早くスタイリストになることを目指しています。

専門学校のコアは教育です。選んでもらうためにアピールすべきことは、教育内容の質を上げるしかない。今の時代、SNSがあるのだから、いい学校、楽しい学校なら学生一人ひとりが自由に発信してくれます。これはサロンや飲食店も同様で、「映えること」で一時期に人は集まっても、中身がないと継続しません。継続に必要なのは「本質」だと思います。だから、中日美容では「本質」を知っていただくために、広報戦略と教育戦略の一体感を大切にしています。

校則は誰のためにあるのか

私は学生の前で「校則」について話す機会が多いです。みんなは校則を「厳しい」とか「縛るため」と思うかもしれませんが、中日美容では理不尽な校則は存在しないと思います。そもそも校則は誰のためにあるのか。それは学生のためです。学生を守るため、一人ひとりに成長してもらうために校則があります。例えば、授業を妨害する学生を注意するのは厳しいことでしょうか? 私は、一生懸命に聞いている学生を守るための指導だと思います。学校は教える権利があり、学生は受ける権利があるからです。

オープンキャンパスで「校則を理解できない方はうちを選ばないほうがいい」と、

真剣に伝えることがあります。でも、真面目な生徒はそれを聞くと嬉しい顔を見せてくれます。私たちは学生を成長させたいですし、入学してもらったからには、授業料以上の価値を得て卒業してほしい。私たちは責任を持って技術を身につけて、国家試験に合格させる自信があります。自信があるからこそ、責任を持って厳しいこともしっかりと伝えていきます。

「本質」を見て学校もサロンも選んでほしい

学校選びもサロン選びもぜひ「本質」を見てください。今はSNSで情報収集できますし、就職ガイダンスだってあります。雰囲気や条件を重視して選ぶのも手段ですが、まずは「自分が成長できる場所なのかどうか」を大切にしてください。今だけ楽しい場所なのか、ずっと成長させてくれる場所なのか。専門学校であれば、「2年後の先」を見据えているのか。サロンであれば「5年後や10年後」を見据えているのか。そこには想像力が非常に大切です。もう一つサロン選びでアドバイスしたいのは、「背伸びをしないこと」です。自分を偽って合格してもきつと続きません。ありのままの自分で受け入れてくれるサロンがあなたに合っているサロンです。「有名になりたい」「お金を稼ぎたい」「地元で働きたい」など、志望理由は人それぞれですが、まずは自分を認めてくれたサロンに進んだほうがいいと思います。

最後に学生の方々にメッセージを送るなら、夢を目標に変え、そして「現

学校法人中日学園理事長 / 中日美容専門学校校長

小山育久 (こやまいくひさ)

PROFILE

1966年生まれ。
2024年に中日学園理事長、
中日美容専門学校校長に就任。
「破壊と改革、変化と進化」を掲げ、
美容業界の構造改革も目指して奔走している。

「実」にすることを意識してください。夢を目標として書き出し、その中で短期・中期・長期の計画を立てる。これは会社の経営も同じです。「このサロンに入りたい」という夢を目標にして、そのために何をすべきか。短期で何をやるのか、長期で何をやるのか。一つずつ積み上げていくだけです。準備する時間があればあるほど選択肢は広がりますし、早く始めて損することはありません。目の前のことをちゃんとやる人間が、結局は成功しています。夢を夢で終わらせず、充実した毎日積み上げていってください。



(1) 学生と気さくに接する小山さん。中日美容専門学校の雰囲気の良さが伝わってくる
(2) 取材では、これからの専門学校や美容業界の在り方について熱弁
(3) 2025年にハイレベルの育成コース「スーパープロフェッショナルコース」を新設した

